

株式会社テクノマセマティカル

平成24年3月期＜第12期＞

決 算 説 明 会

■ Algorithm Specialist

TMC

平成24年5月23日

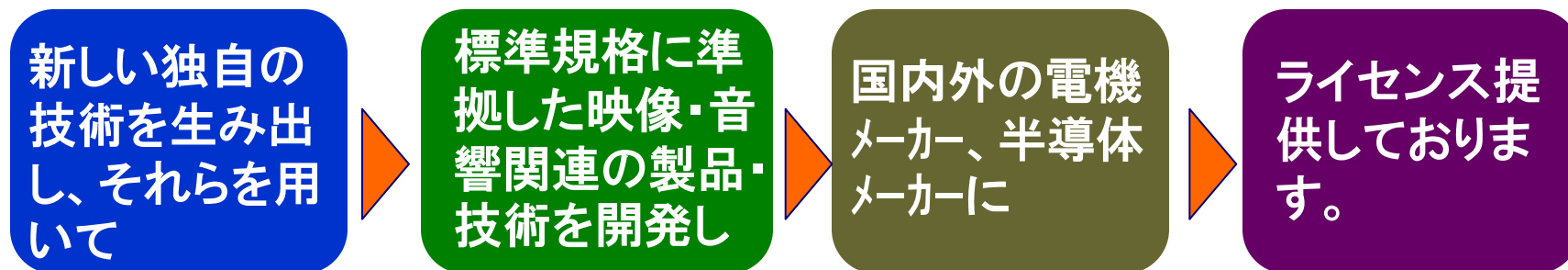
Agenda

1. 事業概要
2. 今期決算と来期予想
3. 売上内訳
4. B/S、C/F
5. 来期(H25/3期)について
6. これからの事業展開について

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について



- ①高圧縮率、
- ②高画質、
- ③低消費電力、
- ④低遅延

が実現できるデータ圧縮技術を開発、提供し続けます。

1-2 当社の基幹業務について

2000年6月設立当初から

“アルゴリズム開発” をビジネスの基幹と位置付け

DMNA

(Digital Media New Algorithm)

テクノ マセマティカルが開発したアルゴリズムの愛称

画像/映像

音響/音声

DMNAを圧縮／伸張処理に応用

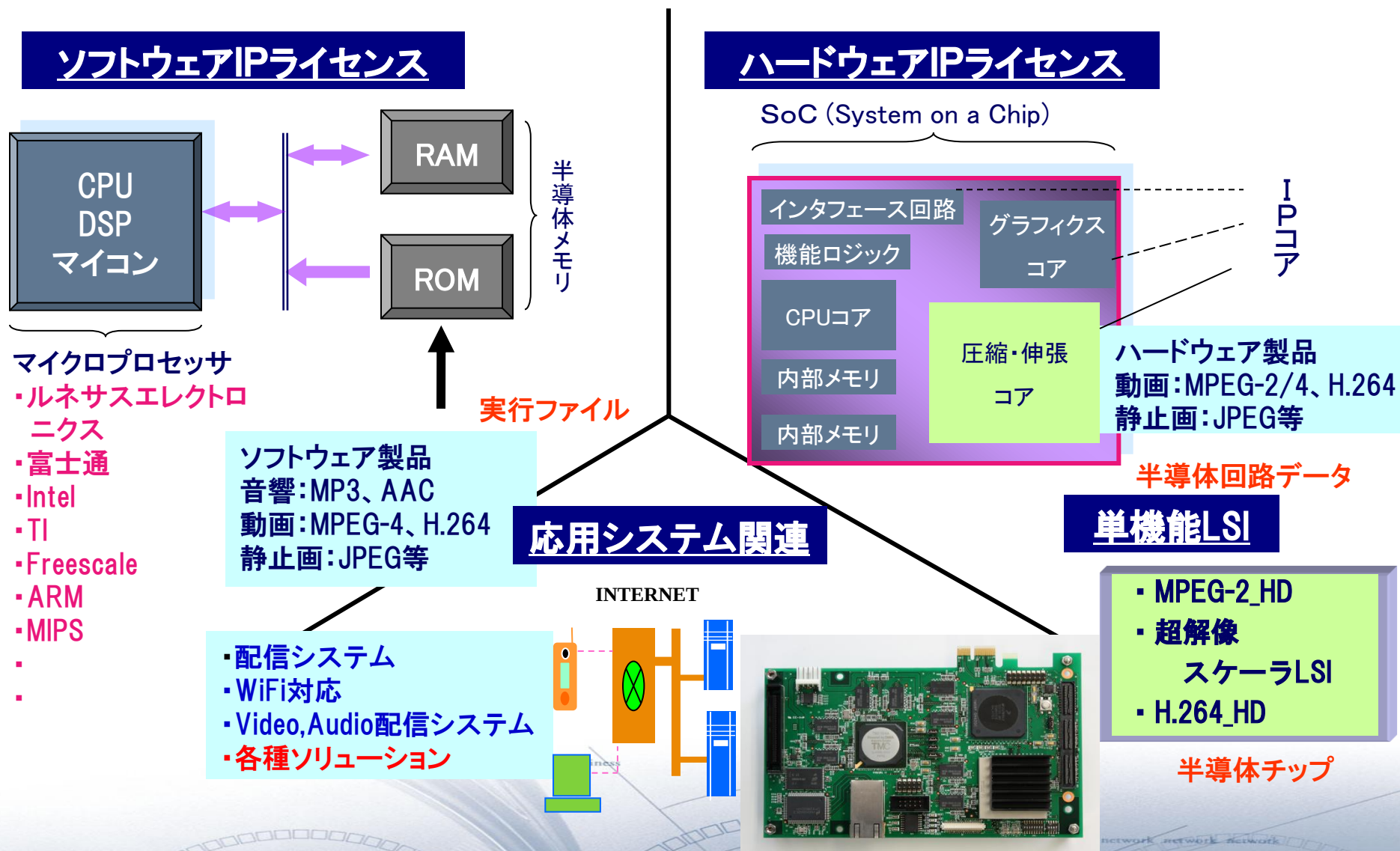
ソフトウェアIP

ハードウェアIP

単機能LSI

応用システム事業

1-3 製品形態

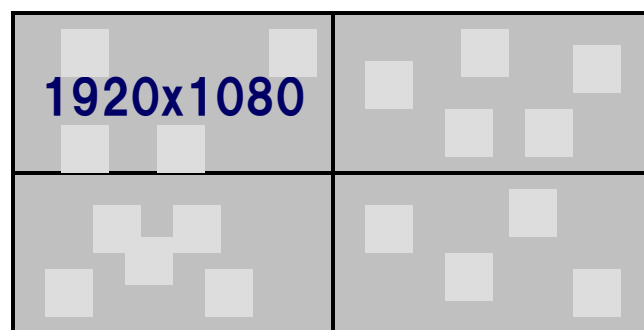


1-3-1 画像／映像

TMCの4K2K(FullHD (30fps) の8倍の性能)技術

<特長>

- ・最大画像サイズ: 4096 x 2160 / 60fps まで対応
- ・4K2Kの大画面を、継ぎ目のない高画質、低遅延、低消費電力で実現



つなぎ目が見える



高画質でつなぎ目なし

当社製

1-3-2 音響／音声

①エコーキャンセラ ・スピーカフォン使用時のエコーをキャンセルし、全二重通話をクリアにすることができます。 ・エコー消去量: 50dB (1/256)	②ノイズサプレッサ ・背景雑音を低減させ、クリアな音声信号を取り出すことができます。 ・雑音低減量: 14dB (1/5)
③風雑音低減 ・風がマイクに吹き付ける際に発生するポコポコというノイズを低減します。 ・雑音低減量: 20dB (1/10)	④ズームボイス ・狙った前方向からの音を強調し、周囲の雑音を抑えることができます。 ・雑音低減量: 16dB (1/6)

<製品別適用事例>



携帯電話のスピーカフォン通話

エコーキャンセラ

ノイズサプレッサ

風雑音低減



カーナビのスピーカフォン通話
や音声認識の前処理

エコーキャンセラ

ノイズサプレッサ

風雑音低減



デジカメの動画撮影

ズームボイス

風雑音低減

1-3-3 ソリューション

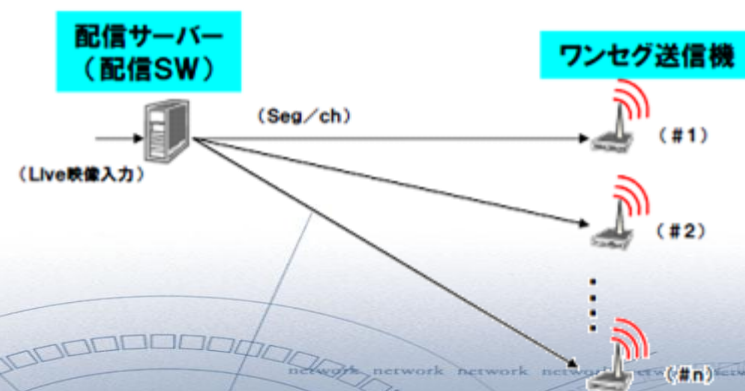
1. マルチメディア放送への対応

- ・防災無線システム
向けミドルウェア



2. エリアワンセグへの対応

- ・配信システム
向けミドルウェア



1-4 当社事業の特徴

1. 独自技術により、差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス・ロイヤルティモデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像／音響／音声製品

4. 事業領域拡大による収益力の向上

既存／新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 損益計算書推移

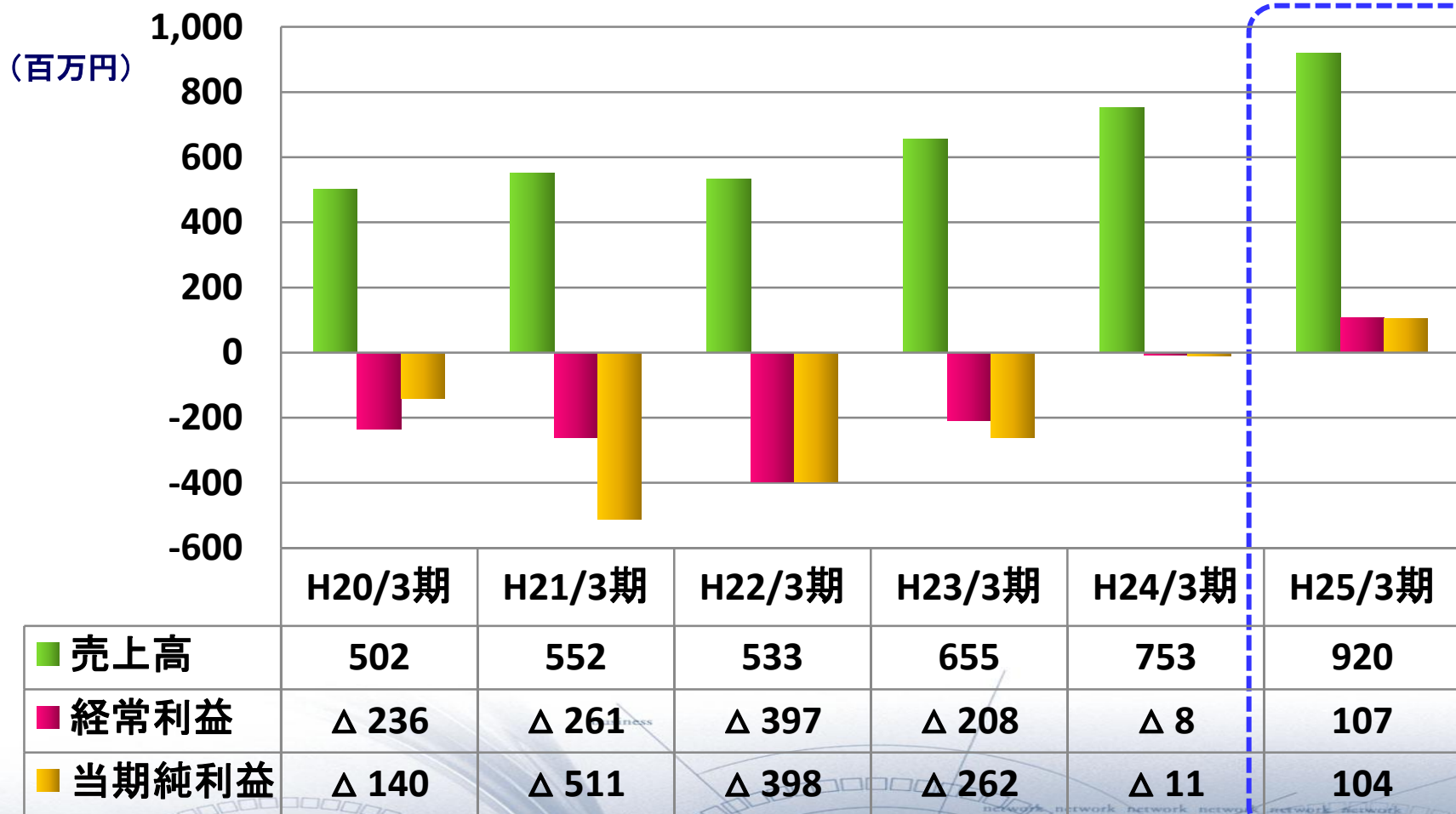
(単位:百万円、%)

	H23/3期(実績)			H24/3期(実績)			H25/3期(予想)		
	金 額	構成比	前期比 増減額	金 額	構成比	前期比 増減額	金 額	構成比	前期比 増減額
売 上 高	655	100.0	122	753	100.0	98	920	100.0	167
売上総利益	551	84.1	143	662	87.9	111	825	89.7	163
販売管理費	766	116.9	△ 50	675	89.6	△ 91	720	78.3	45
営 業 利 益	△ 214	△ 32.7	193	△ 12	△ 1.6	202	105	11.4	117
経 常 利 益	△ 208	△ 31.8	189	△ 8	△ 1.1	200	107	11.6	115
当 期 純 利 益	△ 262	△ 40.0	136	△ 11	△ 1.5	251	104	11.3	115

2-2 業績の推移

H24/3期
要 因 ◆ 売上高 SW部門売上の大幅増により初の7億円台
◆ 損 益 増収/経費節減効果により経常損失大幅縮小

H25/3期予想

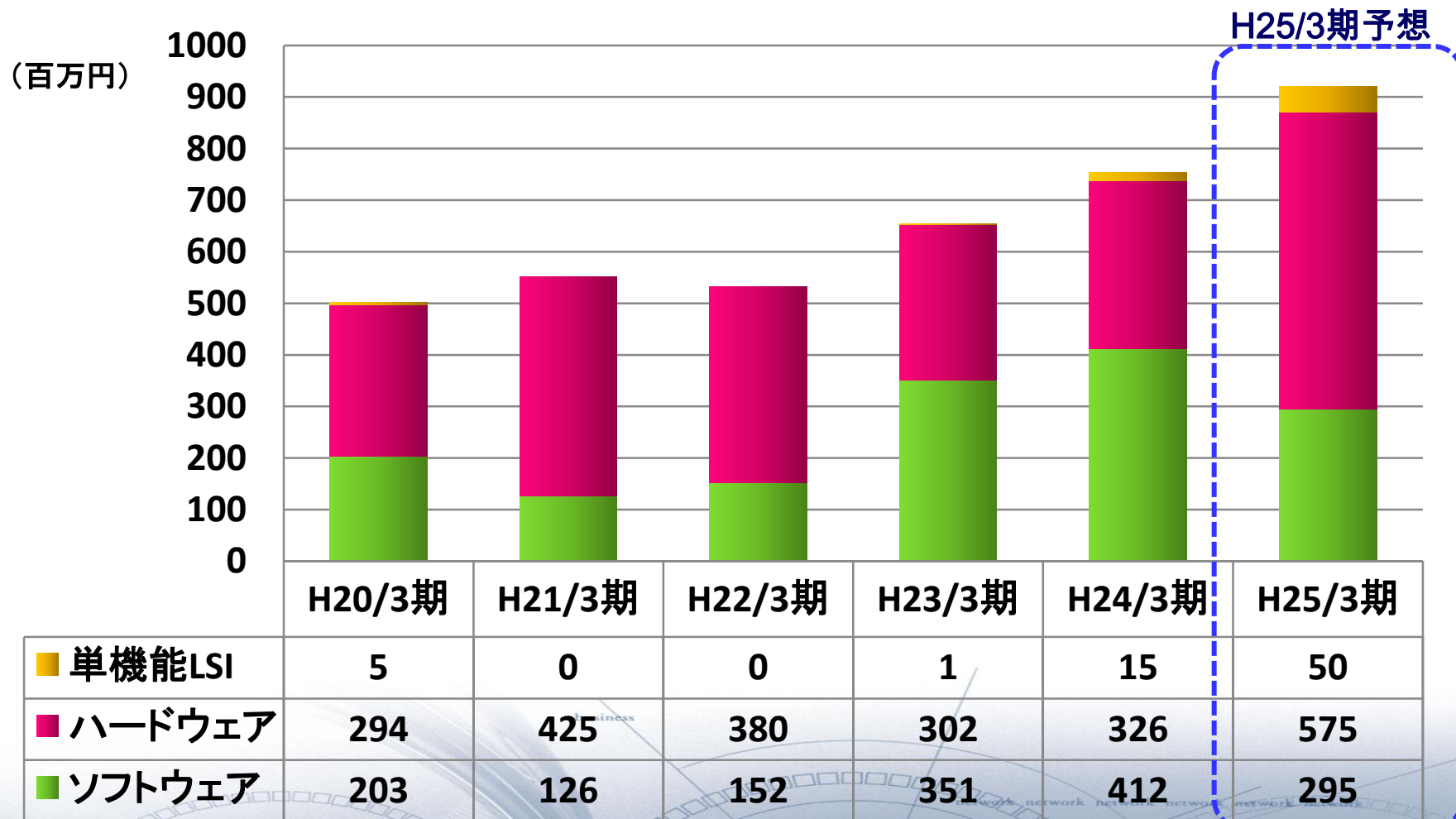


3-1 売上の内訳(事業区分別)推移

H24/3期

◆ソフトウェアは前期比大幅増加・・・車載向け、ゲーム機向けに売上拡大

◆ハードウェアは前期比ほぼ横ばい・・・大型案件とランニング・ロイヤルティで横ばい確保

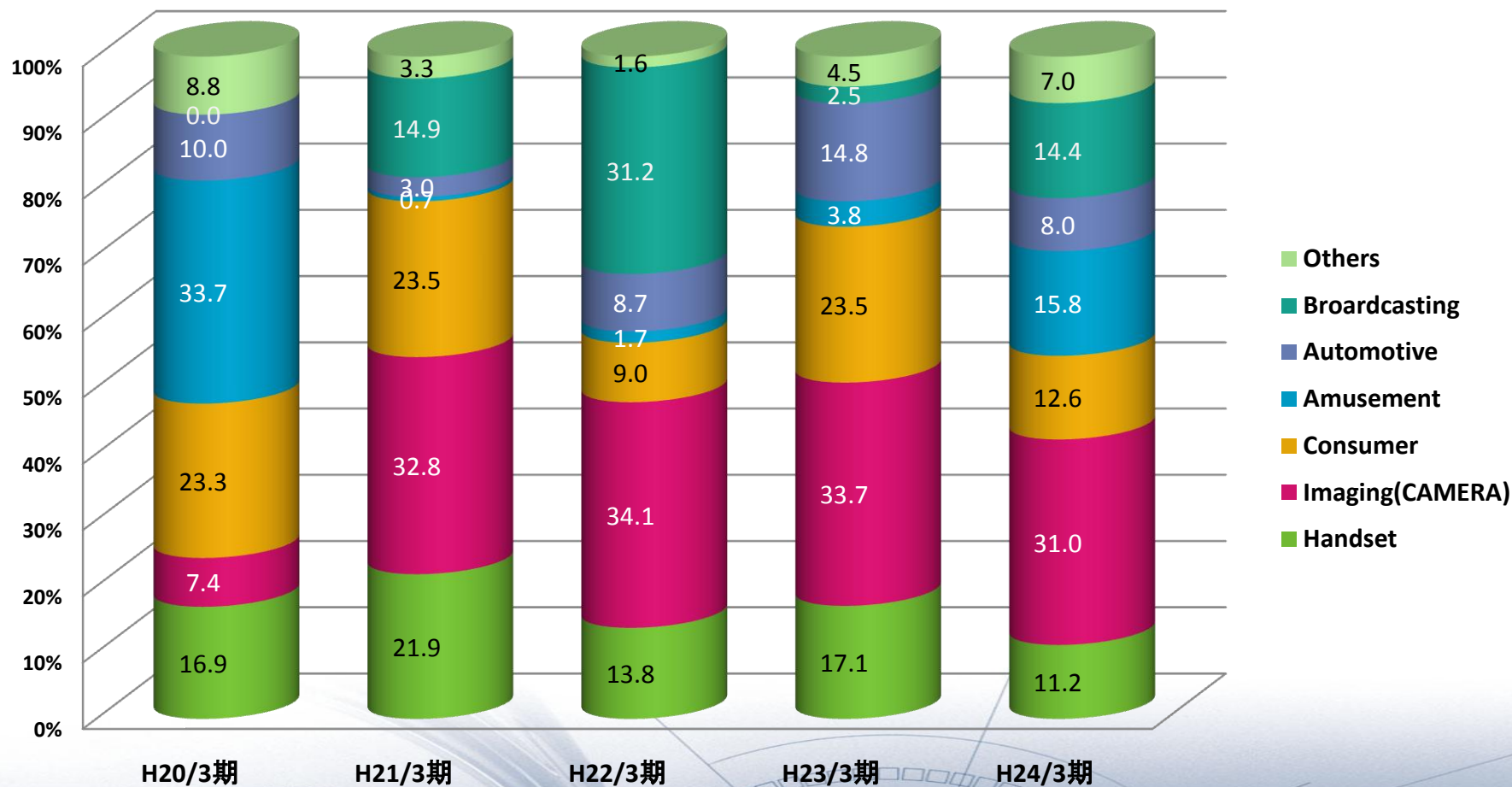


3-2 売上の内訳(対象市場別)推移

◆カメラ関連は堅調、アミューズメント関連も持ち直し

H24/3期

◆動画配信システム関連はソリューションビジネスとしての取組み効果



4-1 貸借対照表 (平成24年3月31日)

(単位:百万円)	前々期末 (H22/3期末)	前期末 (H23/3期末)	当期末 (H24/3期末)	構成比	対前期末比 増減
流動資産	3,267	3,119	3,136	96.9%	16
固定資産	168	132	101	3.1%	△ 31
資産合計	3,436	3,252	3,237	100.0%	△14
流動負債	91	134	119	3.7%	△14
固定負債	—	7	7	0.2%	0
純資産	3,345	3,110	3,110	96.1%	0

4-2 キャッシュ・フロー計算書推移

(単位:百万円)	前々期 (H22/3期)	前期 (H23/3期)	当期 (H24/3期)	対前期比 増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	△286	△298	△104	193
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,723	1,491	△1,299	△2,791
財務活動による キャッシュ・フロー	20	28	12	△16
現金及び現金同等物 の 増 減 額	△2,989	1,220	△1,392	△2,613
現金及び現金同等物 の 期 首 残 高	3,350	361	1,581	1,220
現金及び現金同等物 の 期 末 残 高	361	1,581	188	△1,392

5-1 H25/3期業績見通し

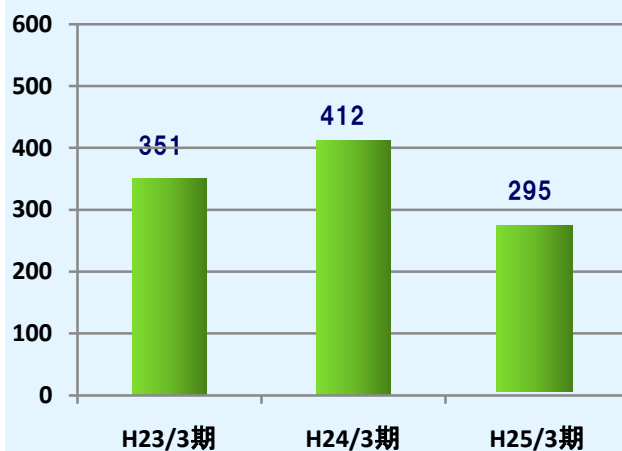
(単位:百万円)	予 想	増減	増減率	H24/3期実績
売 上 高	920	+167	+22.1%	753
経 常 利 益	107	+115	—	△8
当 期 純 利 益	104	+115	—	△11

- ◆ ソフトウェアライセンス＝ワンセグ、配信システム、携帯端末中心に需要見込む
- ◆ ハードウェアライセンス＝デジカメ向けに堅調、FPGAへも対応
- ◆ 単機能LSI＝H.264LSIをボード+CPU搭載として拡販図る
- ◆ ソリューション＝主として放送・通信分野をターゲットに展開

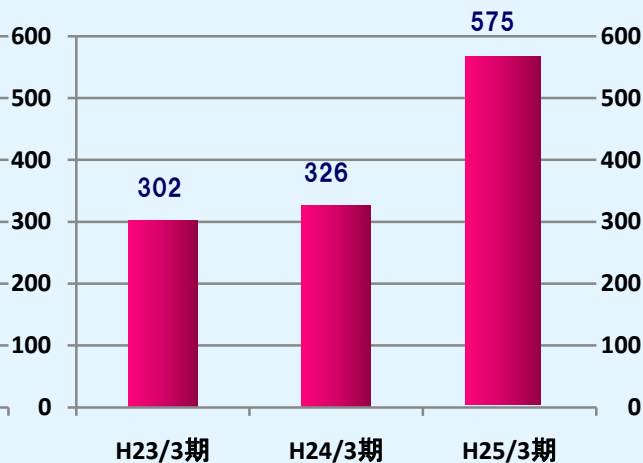
5-2 事業区分別売上予想

＜売上高＞（単位：百万円、H23/3期、H24/3期は実績、H25/3期は予想）

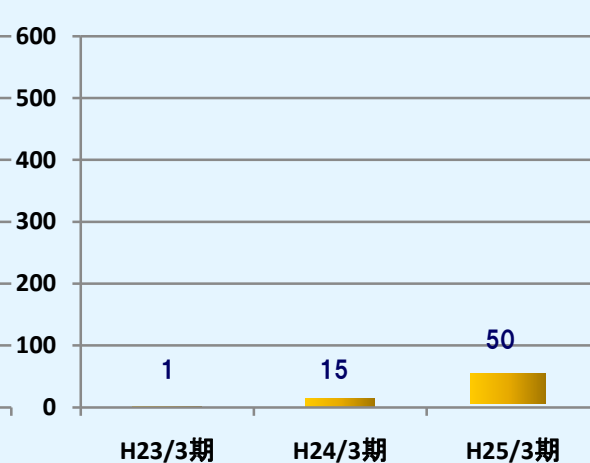
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



LSI事業



予想基礎

- ・ **ワンセグ、配信システム**関連でビデオ関連は底堅い需要見込む
- ・ オーディオ、ボイス関連も**携帯電話、車載**向けに伸び見込む

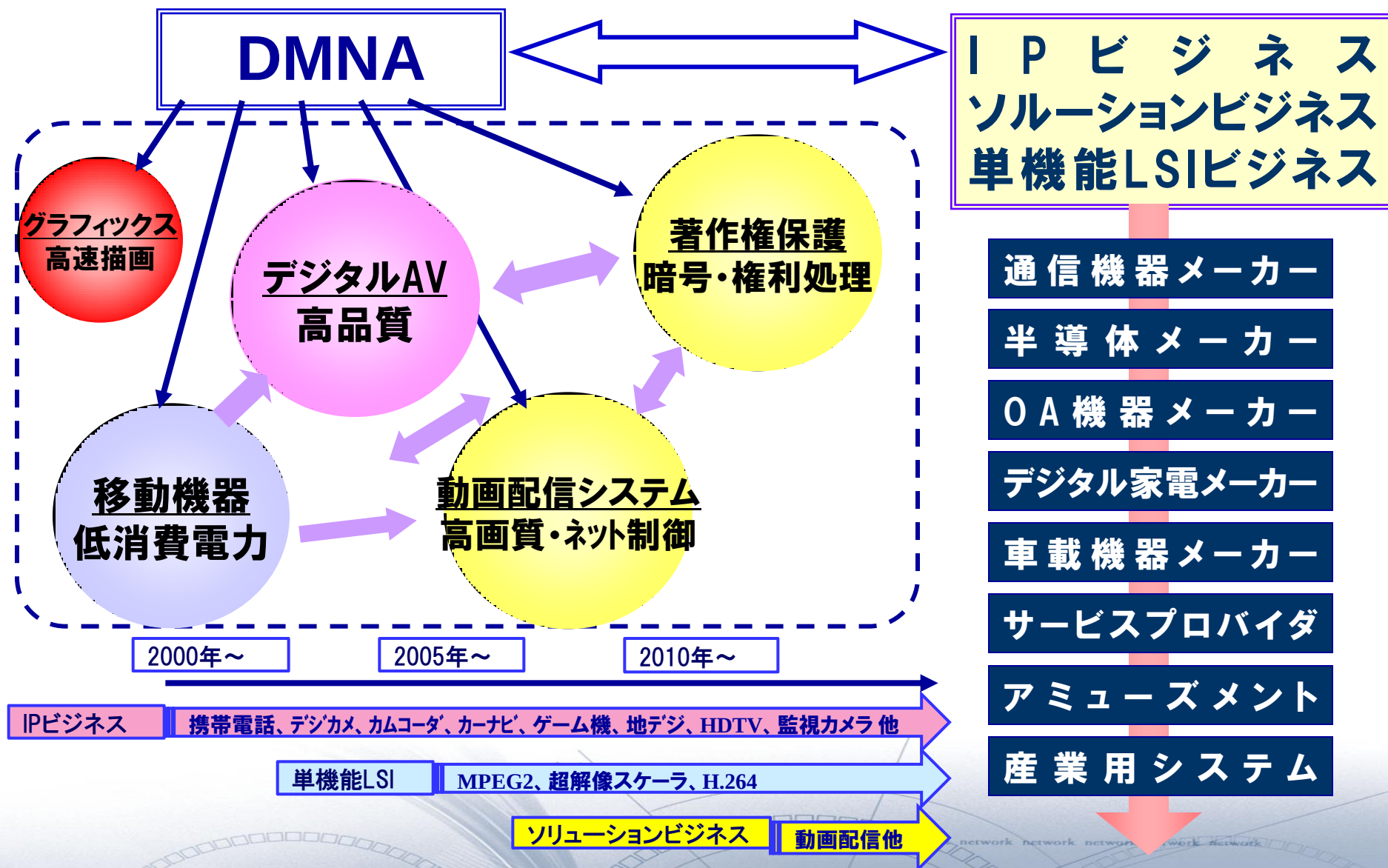
- ・ **デジカメ**向けに堅調な需要を見込む
- ・ **FPGA**向けも期待
- ・ **HD対応**案件のニーズは堅調。実需の拡大期
- ・ **4K**案件の立ち上がり期

- ・ **H.264LSI**はボード+CPU搭載で顧客の使い勝手をよくして販売強化
- ・ 用途を民生用から**産業用**に拡大して顧客を開拓

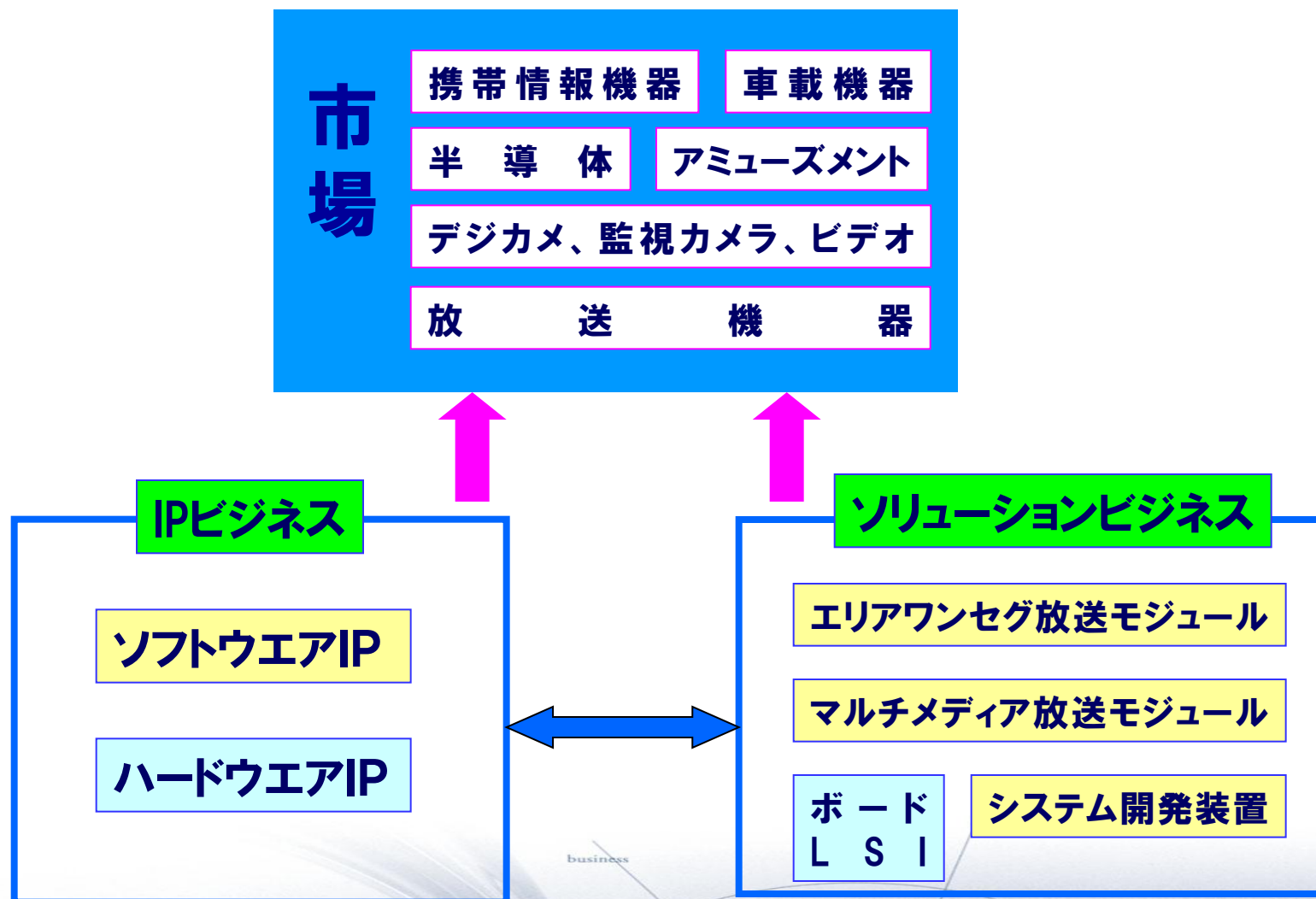
5-3 平成25年3月期における課題

1. ソリューションビジネスのさらなる拡大
2. 各種予算管理の強化による損益黒字化の達成
3. 既存技術のブラッシュアップによる差別化/優位性の維持・強化
4. 新技術の開発によるマーケット・ニーズの先取り/開拓

6-1 ビジネス展開の推移



6-2 IPビジネスとソリューションビジネス



アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-5798-3636 E-mail:ir@tmath.co.jp